

平成 30 (2018) 年度

お ごとり

れき し けんてい

第3回小郡ふるさと歴史検定 (後期)

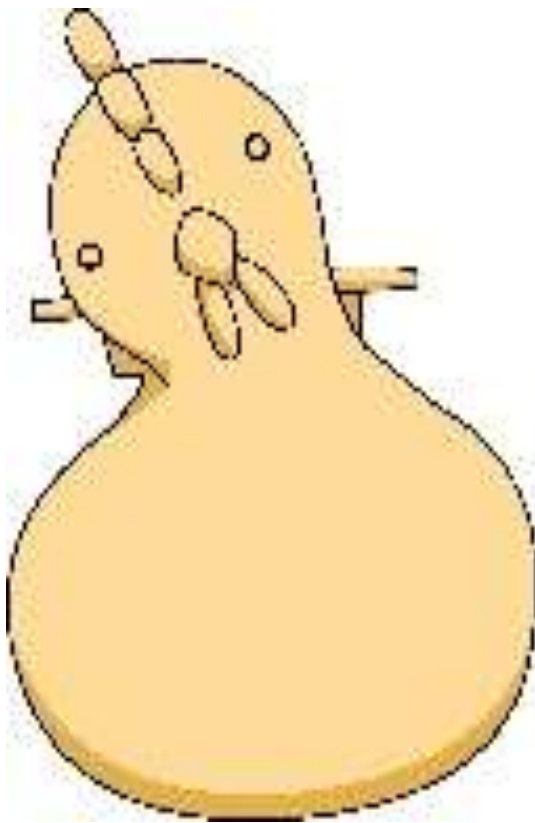
しょうがくせい

ちゅうがくせいへん

もんだい

小学生・中学生編 問題

漢字にはよみがな を書いてください		点数
なまえ		



ふるさと小郡のあゆみ普及活用推進委員会
小郡市埋蔵文化財調査センター

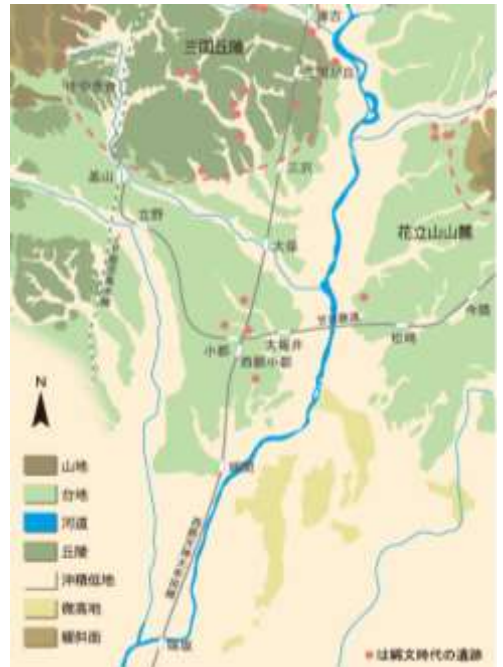
第1問 ^{いま}今から^{ねん い じょうまえ}150年以上前の^{え ど じ だい}江戸時代
^{こう き}後期には、^{げんざい}現在の^{お ごおり し}小郡市の^{はん い}範囲に
^{ちやうそん}いくつの^{まち むら}町村があったでしょう。

- ① 7
- ② 28
- ③ 35

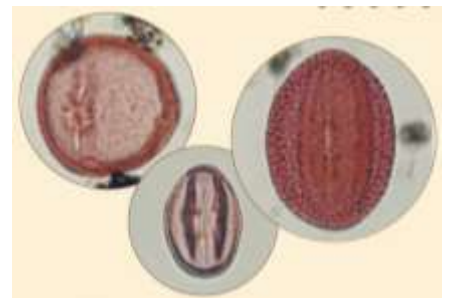


第2問 ^{じやうもん じ だい}縄文時代の^{ひとびと}人々は、^{みくにきゅうりやう}三国丘陵など
^{せいかつ}生活し^{ぼしよく}やすい^{ところ}場所で暮らしていました。
^{げんざい}現在^{お ごおり し}小郡市内で^{じやうもん じ だい}縄文時代の^{い せき}遺跡が^{はっけん}発見
されているのは、^{にしてつてんじんおおむ たせん}西鉄天神大牟田線の
^{えき}ある^{きたがわ}駅から^{はん い}北側の^{えき}範囲で、その^{えき}駅より
^{みなみ}南では^み見つかっていません。ある^{えき}駅と
はどの^{えき}駅でしょう。

- ① ^{みくに おかえき}三国が丘駅
- ② ^{おおほえき}大保駅
- ③ ^{はたまえき}端間駅



第3問 ^{つち なか ど じやう}土の中(土壌)には、^{さまざま}様々な^うものが埋
まっています。見^みつかる^{もの}ものの中には、
^{けん びきやう}顕微鏡で^{しら}調べると、^{とう じ}当時^{しよく}どのような^{しょく}植
^{ぶつ}物^{もり}があって、^しどうい^{もり}う^{もり}森^{もり}だったか^しかを^し知
ることが^しできる^しもの^しがあります。^{つち}土の
^{なか ど じやう}中(土壌)^{なに}の^{しら}何^{しら}を^{しら}調^{しら}べる^{しら}ので^{しら}しょう。



- ① ^{かざんばい}火山灰
- ② ^{かふん}花粉
- ③ ^{き かせき}木の化石

第4問 小郡市大保の大保横枕遺跡では、弥生時代のムラの中に二重の環濠（円形の溝）が掘られていました。この溝は、断面があるアルファベットの文字に似た形をしています。その文字とは何でしょう。

- ① U字
- ② V字
- ③ W字



第5問 三国丘陵は、谷と丘が交互にあります。弥生時代、三国丘陵の丘では集落の跡が見つかり、生活が営まれていたことがわかりました。一方、谷では何の跡が見つかっているでしょう。

- ① 貯蔵穴
- ② 水田
- ③ 高床式倉庫



第6問 小郡小学校から600mほど南にある寺福童遺跡では、弥生時代のムラのマツリに使われた、「銅戈」という青銅器が発見されています。ここで銅戈は、全部で何本見つかったでしょう。

- ① 5本
- ② 7本
- ③ 9本



第7問 弥生時代の終わりごろになると、ムラ同士の戦いに備えてさまざまな設備がつけられるようになります。現在三国が丘団地になっているところで見つかった三国の鼻遺跡では、丘の上にムラを囲むように溝をめぐらせていましたが、この溝を何と呼ぶでしょう。

- ① 周溝
- ② 環濠
- ③ 側溝



第8問 西島遺跡では、古墳時代にももの作りが行われていた跡が見つかりましたが、ここで作られていたものとは何でしょう。

- ① 鎧 (短甲)
- ② 玉
- ③ 土器



第9問 小郡高校の近くの三沢蓬ヶ浦遺跡では、古墳時代に埴輪をつくっていた窯跡が見つっています。ここで焼かれた埴輪は、小郡市内のある古墳に運ばれ並べられたのだろうと想像されていますが、その古墳とはどこでしょう。

- ① 津古生掛古墳
- ② 三国の鼻1号墳
- ③ 横隈山古墳



第10問 小郡市では、これまでたくさんの古墳が見つかっています。このうち、300基以上の多数の古墳が発見された場所はどこでしょう。

- ① 上岩田
- ② 花立山
- ③ 三国が丘



第11問 古墳時代の中ごろからつくられるようになった新しい土器に、須恵器という種類があります。小郡市希みが丘団地の南側で見つかった、須恵器を焼いていた遺跡の名前は何でしょう。

- ① 朝倉窯跡群
- ② 牛頸窯跡群
- ③ 苺又窯跡群



古墳時代から奈良時代の須恵器(上)と土師器(下)

第12問 古代の都やお寺、役所では、役人や僧侶といった文字の読み書きができる人々が働いていました。上岩田遺跡では、その証拠と言える当時の文字を書くときに使う道具が見つかっていますが、それは何でしょう。

- ① 紙
- ② 硯
- ③ 筆



第13問 古代の小郡市は、その大半が「筑後国」の「御原郡」と呼ばれる地域でした。この地域を治めた役所である「御原郡衙」は、何回か移ったことが知られていますが、現在役所（官衙）の跡は何カ所見つかっているでしょう。

- ① 3カ所
- ② 4カ所
- ③ 5カ所



第14問 小郡市松崎の松崎六本松遺跡では、古代の道の跡が見つかっています。大宰府や筑後国府といった当時の拠点と、各地を結んだこのような古代の道路を何と呼ぶでしょう。

- ① 官道
- ② 羨道
- ③ 隧道



第15問 小郡市干潟にある干潟遺跡からは、7世紀初めから8世紀後半の大集落が発見されました。ここでは、当時の人々がくらしした家（竪穴住居）が見つかっていますが、その数は、全部で何軒くらいでしょう。

- ① 20軒くらい
- ② 50軒くらい
- ③ 120軒くらい



第16問 古代の人々は、布を織るための糸を紡ぐのに、写真のような道具を使っていました。弥生時代から使用されはじめ、小郡市内の遺跡でもたくさん見つかっている、この道具の名前は何と云うでしょう。

- ① 栓状耳飾
- ② 紡錘車
- ③ 円盤



第17問 文永11年(1274)、中国の元は2万8千の軍勢と900艘の船を日本に向かわせました。元軍は、対馬と壱岐を襲い、10月20日博多湾に現れました。鎌倉幕府は、九州の御家人を動員して元軍と戦います。この時、合戦に参加した筑後国の御家人たちを指揮したのは誰でしょう。

- ① 大友頼泰
- ② 源義経
- ③ 足利尊氏



第18問 南北朝時代、筑後の武士たちの多くは、肥後の菊池氏とともに南朝方として行動しました。御原郡の南朝方は古飯氏と、もう一人の武士(在地領主)は誰でしょう。

- ① 三原氏
- ② 黒木氏
- ③ 草野氏



第19問 おうえい ねん しょうぐんあしかがよしみつ きゅうしゅう なんちようせいりよく せいあつ
 永永2年(1395)、将軍足利義満は、九州の南朝勢力を制圧した
 きゅうしゅうたんだい いまがわりしゅうん あと あたら たんだい きゅうしゅう
 九州探題の今川了俊をやめさせました。その後、新しい探題が九州
 にやってきましたが、しょうにし きくちし したが へい あ
 少弐氏や菊池氏は従わず、兵を挙げたため
 ちくごのくに せんじよう あたら きゅうしゅうたんだい にんめい ぶし
 筑後国も戦場になりました。新しい九州探題に任命された武士は、
 だれ
 誰でしょう。

- ① おおとももちなお 大友持直
- ② きくち たけみつ 菊池武光
- ③ しぶかわみつより 渋川満頼



大内盛見

第20問 てんぶん ねん おおうちよしたか じゅうしん すえたかふさ むほん たお
 天文20年(1551)、大内義隆が重臣の陶隆房の謀反によって倒
 されると、たかふさ よしたか おい おおともよししげ そうりん おとうと はるひで
 隆房は義隆の甥にあたる大友義鎮(宗麟)の弟である晴英
 おおうちよしなが な の あとつ すおうのくにやまぐち
 を大内義長と名乗らせ跡継ぎにしました。このとき、周防国山口に
 はい はるひで どうこう ほさ みはらぐん ゆうりよく りょうしゅ だれ
 入る晴英に同行して補佐した御原郡の有力な領主は、誰でしょう。

- ① たかはしあきたね 高橋鑑種
- ② きくち よしむね 菊池義宗
- ③ み はらたねひで 三原種秀



大友宗麟

第21問 あじさか ち ず み やかた こんせき み
 味坂の地図を見るとかつてあった館の痕跡を見つけることができ
 ます。あじさかしやうがっこう にしがわ せつ ちいき あざめい むかし ちめい
 味坂小学校の西側に接するこの地域の字名(昔の地名)は、
 なん
 何といわれているでしょう。

- ① おおき どのうち 大木戸之内
- ② じやう の うち 城之内
(しろ の うち)
- ③ ほりの うち 堀之内



第22問 中世に生きた人々の生活は、様々な遺跡から見る事ができます。津古土取遺跡からは、どんなものが発掘されたでしょう。

- ① 中国製陶磁器
- ② 中世の墓
- ③ 小規模な製鉄跡



第23問 田楽は、もとは豊作を願って踊られました。次第に芸能として中世の人々に持てはやされました。筑後地方では美しい田楽という田楽法師が活躍したことが知られていますが、小郡でその踊られた舞があったと記録されている場所（地域）はどこでしょう。

- ① 鱒坂
- ② 津古
- ③ 三沢



第24問 江戸時代、今の小郡市域も領地としていた久留米藩は、領内8郡を4つに分け、それぞれを家老達に郡代として治めさせ、そのもとに奉行を置きました。何奉行を置いたでしょう。

- ① 郡奉行
- ② 町奉行
- ③ 普請奉行



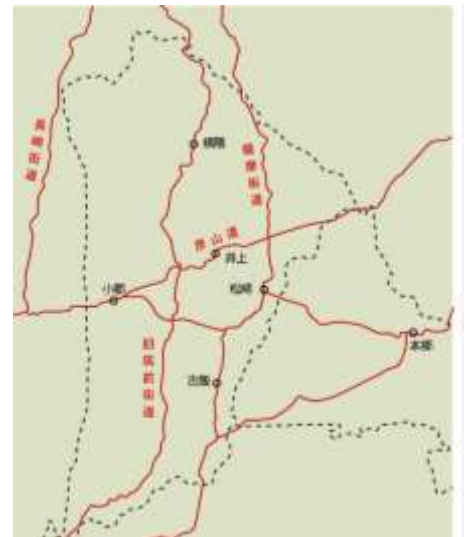
第25問 松崎藩主有馬豊範の時代に、
松崎宿が整備され始め、延宝6年
(1678)平方から松崎を通り乙隈ま
での、筑前へ向かう街道が開通し
ました。何と呼ばれる街道でしょう。

- ① 秋月街道
- ② 薩摩街道
- ③ 長崎街道



第26問 小郡は、江戸時代においても交通の要衝の地で、街道に沿って
人々が往来する中で、松崎(宿場)・古飯・小郡・横隈・井上など
の町が生まれました。その町のこ
とを何というでしょう。

- ① 在郷町
- ② 城下町
- ③ 門前町



第27問 江戸時代の文政年間、隣の西島村と大保村を
流れていた高原川の水を村のために引きたいと
考え、何度も両村と交渉し、話をまとめた小郡
町(村)の庄屋は誰でしょう。

- ① 池内孫右衛門
- ② 丹羽頼母重次
- ③ 高山六右衛門



第28問 久留米藩の財政は次第に悪化し、第6代藩主有馬則維のころには、深刻なものとなりました。そのため、年貢の取り方を変えるなど税の改革を行い、農民の負担が増えることになりました。

さらに、それまで夏物成（麦や菜種などへの税）は、10分の1を税として上納だったのを3分の1を上納するように通達したため、農民の不満は高まり一揆となりました。この時農民が起こした一揆を何というでしょう。

- ① 正徳(2年)の一揆
- ② 享保(13年)の一揆
- ③ 宝暦(4年)の一揆



第29問 元治元年(1864)から久留米藩が、富国強兵のため茶・紙・蠟などを売って得た利益で、外国から買ったものは何でしょう。

- ① 食料
- ② 鉄
- ③ 軍艦



第30問 久留米藩の藩校「明善堂」の開講に当たって、前の藩校「修道館」時代の教育のさまたげになっていた家柄による生徒の席順を廃止し、教育の充実を図った人は誰でしょう。

- ① 池田光政
- ② 樺島石梁
- ③ 樋口甚蔵



第31問 味坂小学校の近くの遺跡から、江戸時代に掘られた水路と考えられる跡が見つかっています。その遺跡の名前は何でしょう。

- ① 小郡博多道遺跡
- ② 福童町遺跡
- ③ 八坂末安遺跡



第32問 小郡市では、平成24年(2012)から松崎にある中油屋と呼ばれる建物を調査しながら解体し、続いて復原する工事を始めました。その発掘調査のとき、床下から土瓶が4個見つかりました。この土瓶は、出産のときに出る胎盤やへその緒を入れる壺として使われたものと考えられています。この壺のことを何というでしょう。

- ① 胞衣壺
- ② 急須
- ③ 二重口縁壺



第33問 江戸時代、現在の小郡市は久留米藩に属していました。明治4年(1871)の廃藩置県で久留米県になり、そのあと三潞県に名前が変わりました。いま小郡は福岡県に属していますが、現在と同じ範囲の福岡県ができたのは何年からでしょう。

- ① 明治4年
- ② 明治6年
- ③ 明治9年



第34問 味坂村の下西鯉坂に生まれた田中新吾は、大正元年(1912)に米の新品種を開発し、農業の発展に尽くした功績で国からの表彰を受けています。開発した米の新品種の名前は何でしょう。



- ① 三井の寿
- ② ゆめつくし
- ③ 三井神力

第35問 江戸時代から明治時代の初めごろまで、筑後地域は燻蝋産業が盛んでした。明治時代になると日本に石油が輸入され、燻蝋で作った蝋燭にかわってガス灯やランプが使われ始めて、蝋の需要がなくなりました。また、断髪令によって日本特有のある文化が失われたことも燻や蝋の値段がとても安くなった原因の一つでした。それはどんなことでしょう。



- ① 武士が刀を持たなくなった
- ② まげを結わなくなった
- ③ 洋服を着るようになった

第36問 小郡市の中心を流れる宝満川は、明治時代の初め頃、蝋製品や農産物、石灰などを運ぶために利用されていました。これらを船に積み込んだり、荷揚げしたりする川港は小郡のどこにあったでしょう。



- ① 端間
- ② 干潟
- ③ 古飯

第37問 明治7年(1874)現在の小郡市内に、後に郵便局となる郵便取扱所が2カ所できました。一つは小郡町にできましたが、もう一つはどこにできたでしょう。

- ① 味坂
- ② 津古
- ③ 松崎



第38問 明治5年(1872)に発布された「学制」により、すべての国民が教育を受けられるように、全国の町や村に小学校をつくることになりました。しかし、授業料が高かったため、学校で学べる人は限られていました。学校制度が始まって10年たった明治16年の就学率(小学校に通う子どもの割合)は、全国平均で何%だったでしょう。

- ① 34%
- ② 47%
- ③ 72%



第39問 アメリカやイギリスとの戦争が始まった昭和16年(1941)には、小学校の国民学校と名前が変わり、勉強の内容も5つに統合されました。国民科・理数科・芸能科・技能科と、あと一つは何だったでしょう。

- ① 工作科
- ② 修身科
- ③ 体錬科



第40問 ^{お おおり し だいひょう し じんの だう たろ う がっこう こう か} 小郡市を代表する詩人野田宇太郎は、学校の校歌もつくっています。^{う たろ う こう か がっこう} 宇太郎が校歌をつくった学校はどれでしょう。

- ① ^{お おおり こうとう がっこう} 小郡高等学校
- ② ^{たてい しちゅう がっこう} 立石中学校
- ③ ^{お おおり しょう がっこう} 小郡小学校



第41問 ^{しょう わ ねん せい ふ と ち かいりょうほう こう ふ と ち じょうけん} 昭和24年(1949)政府は、土地改良法を公布し、土地の条件を
^{せい び せい さん せい たか ふくおかけん お おおり のう か} 整備して生産性を高めようとなりました。福岡県や小郡でも、農家が
^{も と ち こうかん ぶんかつ がっぺい ゆうこう} 持っている土地を交換したり、分割したり、合併したりして有効に
^{と ち つか じぎょう と く じぎょう なん} 土地が使えるように事業に取り組みました。この事業のことを何
というでしょう。

- ① ^{こうかん ぶんごう} 交換分合
- ② ^{のう ち かいかく} 農地改革
- ③ ^{ふくおかけん しゅちくじょう} 福岡県種畜場



第42問 ^{しょう わ ねん がつ にち あたら お おおりまち たんじょう} 昭和30年(1955)3月31日に新しい「小郡町」が誕生しました。
^{あたら お おおりまち くわ お おおりまち たていしむら みはらむら} このとき新しい「小郡町」に加わったのは、小郡町・立石村・御原村・
^{あじさかむら} 味坂村とあと1つはどこでしょう。

- ① ^{ひ かたむら} 干潟村
- ② ^{みくにむら} 三国村
- ③ ^{てらふくどうむら} 寺福童村



第43問 昭和38年(1963)6月29日から7月1日にかけて降った大雨で、小郡市を流れる川の堤防が決壊して(くずれて水があふれ出て)大きな被害が出ました。このとき、決壊した堤防・道路は何カ所に上ったでしょう。

- ① 6カ所
- ② 18カ所
- ③ 36カ所



第44問 当時の1つの町と4つの村が合併してできた小郡町は、福岡・久留米両都市圏のベッドタウンとして発展してきました。人口も増加し、市民の行政への要求も多様化したことから、小郡町は小郡市とすることになりました。では、小郡町が市制を施行して小郡市となったのは何年のことでしょう。

- ① 昭和30年
- ② 昭和47年
- ③ 平成3年



第45問 小郡の池や川で獲れるなまずやフナ、ハヤといった川魚は、食料として貴重なタンパク源でした。獲った川魚を竹串に刺し、火であぶって保存食にしたものを何というでしょう。

- ① しじみ
- ② 焼き串
- ③ ツッポ



第49問 小郡市を北から南に流れる宝満川は、中世には土古河や床河と呼ばれていたようですが、江戸時代になると違う名前でも記録されています。市内では、宝満川を人々に恵みをもたらす川として、江戸時代のころの名前で呼ぶ集落も多いようです。何と呼んでいるのでしょうか。

① 得川

② 福川

③ 良川



第50問 小郡市三国が丘地区にある公園で、古い地名を残した公園はどれでしょう。

① 七夕公園

② 土取公園

③ 中尾公園



第3回後期検定

小学生・中学生編 解答・出題した所

問題番号	答え	問題番号	答え	問題番号	答え
1	③35 6 ページ 江戸時代の小郡	18	①三原氏 86 ページ 筑後の武士たち	35	②まげを結わなくなった 164 ページ 木蠟の衰退
2	③端間 14 ページ 小郡発見の縄文時代遺跡	19	③渋川満頼 88 ページ 幕府の九州支配	36	①端間 166 ページ 宝満川の水運と端間港
3	②花粉 17 ページ 土壌に残った花粉の分析	20	①高橋鑑種 94 ページ 大内氏の滅亡	37	③松崎 170 ページ 郵便と電信の発達
4	②V 字 22 ページ 大保横枕遺跡の環濠	21	②城之内 98 ページ 地名・地名から館を復元する	38	②47% 178 ページ 近代教育の発足
5	②水田 24 ページ 三国丘陵の開発	22	②中世の墓 103 ページ 中世の墓	39	③体錬科 180 ページ 国民学校の教育
6	③9本 34 ページ 寺福童遺跡の銅戈	23	①鯨坂 105 ページ 鯨坂庄の美麗田楽	40	①小郡高等学校 か ②立石中学校 183 ページ 野田宇太郎が作った校歌
7	②環濠 36 ページ 戦いに備えたムラの出現	24	①郡奉行 110 ページ 藩領と支配のしくみ	41	①交換分合 188 ページ 土地の改良
8	②玉 45 ページ 玉作りのムラ	25	②薩摩街道 114 ページ 松崎藩の成立	42	②三国村 195 ページ 新しい小郡町
9	③横隈山古墳 47 ページ 埴輪づくり	26	①在郷町 118 ページ 小郡の在郷町	43	②18カ所 196 ページ 昭和 38 年の大水害
10	②花立山 51 ページ 花立山古墳群	27	①池内孫右衛門 125 ページ 人々の暮らしを救った 池内孫右衛門	44	②昭和47年 198 ページ 市制への期待
11	③苅又窯跡群 54 ページ 苅又の須恵器窯	28	②享保の一揆 126 ページ 一揆の原因	45	②焼き串 205 ページ 食生活
12	②硯 62 ページ 役人の生活	29	③軍艦 133 ページ 軍備の強化	46	②注連ねり(人形じめ) 213 ページ 秋から冬のまつり
13	①3カ所 66 ページ 3つの遺跡と郡衙の移動	30	②樺島石梁 139 ページ 席順を廃止した樺島石梁	47	①ウシどん 217 ページ ウシどんの足あと
14	①官道 69 ページ 古代の道	31	③八坂末安遺跡 145 ページ 水辺の暮らし	48	②あたま 219 ページ 小郡の方言
15	③120 軒くらい 72 ページ 古代の大集落	32	①胞衣壺 146 ページ 建物の新たな事実	49	①得川 228 ページ 宝満川
16	②紡錘車 74 ページ 布を織る	33	③明治9年 152 ページ 三潞県から福岡県へ	50	②土取公園 230 ページ 三国が丘
17	①大友頼泰 80 ページ 文永の役	34	③三井神力 157 ページ 県会議員田中新吾の業績		